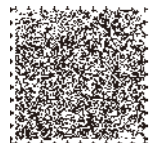


笑顔未来へつなげよう!

佐賀さいこう ビジョン 2022

もっと輝く佐賀県へ



目の不自由な方のための音声コード

音声コードは1.8cm角の中で約1,000文字の情報が記憶できるもので、専用の読み取り機がコードを音声に変換し、文章内容を読み上げます。左の切りかきは、目の不自由な方がコードのある場所を認識するためのものです。



佐賀県のすがた

人口・805,721人
県統計分析課「佐賀県の推計人口」(令和3年10月1日現在)
 世帯数・314,731世帯
県統計分析課「佐賀県の推計人口」(令和3年10月1日現在)
 面積・2,440.67km²
国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(令和3年10月1日現在)



県木(クス)
 県内では「川古(武雄市若木)」のクスが一番大きく、根まわり33m、樹齢は3000年をこえると推定されます。(昭和41年9月指定)



県鳥(カササギ)
 「カチガラス」とも呼ばれ、佐賀平野を中心に生息しています。大正12年には天然記念物に指定され、保護鳥となっています。(昭和40年5月指定)



県花(クスの花)
 クスの花は5月に咲き、直径が3~4mmで、愛らしい白ないし淡黄色をしています。(昭和29年3月指定)

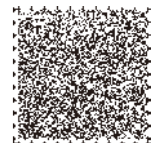
サガン鳥栖(2022年のスローガン)



2022年度版 県政ガイド

佐賀さいこうビジョン 2022

佐賀県 佐賀県 広報広聴課
 TEL0952-25-7351 FAX0952-25-7263 〆 kouhou-kouchou@pref.saga.lg.jp
 佐賀県ホームページ ▶ 佐賀県 検索 <https://www.pref.saga.lg.jp/>



人を大切に、 世界に誇れる佐賀づくり

政策推進の視点

さがデザイン

県産品や街並みなどの「モノ」と、社会のシステムやサービスなどの「コト」を磨き上げ、新たな価値を付与することにより、人の暮らし、まち・地域を心地よくし、豊かなものにします。

さが創生

佐賀県にある本物の地域資源の磨き上げや、女性が活躍する社会づくりの推進などにより、雇用や新しいひとの流れ、子育てしたいと思ってもらえる環境、時代に向き合う地域社会を作り出します。

県政運営のキーワード

現場

現場第一

ミッション

本来の目的を見失わない

プロセス

プロセスを大切に

佐賀県のすがた	25
あふれるスポーツのチカラ	23
子育てし大県“さが”	21
人にやさしいまちづくり	19
歴史・文化を守り伝える	17
佐賀の宝を未来へつなぐ	15
挑戦を続ける産業づくり	11
佐賀の魅力を発信	9
人を育む	6
安全・安心を守る	3

【目次】

2022年度県の主な取組の紹介

輝く未来のために

今、私たちを取り巻く環境は、大きく変化しています。

新型コロナウイルス感染拡大や自然災害などが日々の生活に影響をもたらす中、佐賀県では、世界を視野に、現場の声を聴き、県民の皆様に取り添いながら、1つ1つ、想いをかたちにしてきました。

それらの取組は、“みんなに子育てを楽しんでほしい”という願いを込めた「子育てし大県“さが”」、自然環境を守り、未来へ継承する「森川海人プロジェクト」、人にやさしいまちを目指す「さがすたいる」、スポーツ文化の裾野を広げていく「SAGAスポーツピラミッド(SSP)構想」、世界に羽ばたく起業環境をつくる「“佐賀型”スタートアップ支援」など、様々な分野に広がりを見せるとともに、未来を見据えた人づくりへもつながっています。

困難の中にある今こそ、私たちは、互いに手と手を取り合うことで、よりよい地域、そして未来をつくることができるのだと思います。

西九州新幹線の開業や、SAGAサンライズパークのグランドオープンが間近に迫った今、人が集い新たな交流が生まれるこの機会もしっかりと活かしながら、魅力あふれる佐賀県をつくってまいります。

これからも人の力を信じ、県民の皆様とともに「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」に取り組んでまいります。

佐賀県知事 山口 祥義



安全・安心を守る

SAFETY



1 内水氾濫対策を進めています

県内では、令和3年までの4年連続で、大雨特別警報が発表される災害が発生しています。
特に令和3年8月豪雨では、令和元年佐賀豪雨と同じ場所で内水氾濫が起き、県内各地に大きな被害をもたらしました。
このため、県では、被害を軽減し、二度と同様の被害とならないよう、内水対策プロジェクト(プロジェクト「F」)を立ち上げ、内水氾濫対策に特に力を入れて取り組んでいます。



令和3年8月豪雨時の内水氾濫状況(武雄市内)



消防防災ヘリコプター「かちどき」による人命救助



浚渫後の祇園川(小城市)



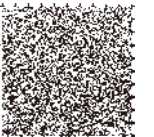
導入した排水ポンプ車(ファイブスターズ)

被害の軽減や、各機関との情報共有と連携を目指し、浸水の状況を把握するカメラ・浸水センサーなどの設置や、排水ポンプ車の導入、ダムの貯留機能の強化や田んぼダムの推進、河川の浚渫※2などに取り組んでいます。
その他、今年度中には焼米ため池(武雄市)の緊急放流ゲートの新設や、排水機場の耐水化などの機能向上も行う予定です。
今後、これらの取組に限らず、中長期的な取組も進め、大雨災害時の被害軽減に努めていきます。

※1/プロジェクト「F」とは、「Inland Water Flooding(内水氾濫)」を略称したものであり、「仮に「方」が「こ」という趣旨での「if」とかけ合わせた造語
※2/流水の阻害となっている河川内の堆積土砂を取り除くこと

★ お問い合わせ先

- ①【内水氾濫対策】 危機管理防災課 ☎0952-25-7362 ✉kikikanribousai@pref.saga.lg.jp
農山漁村課 ☎0952-25-7125 ✉nousangyoson@pref.saga.lg.jp
河川砂防課 ☎0952-25-7161 ✉kasensabou@pref.saga.lg.jp



2 佐賀県独自の新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます

新型コロナウイルス感染症対策では、行政と医療の連携チームで実施する「プロジェクトM」において、救急医療や通常医療の医療環境を守りながら、陽性者の症状に合わせた療養を行えるよう、入院治療のための病床の確保、隔離療養のための宿泊療養施設の確保及び自宅療養者の支援体制づくりに取り組んできました。今後も、医療現場がひっ迫することなく、安心して治療・療養ができる医療提供体制を維持できるように対応していきます。

また、ワクチン接種については、県が運用を行っている消防防災ヘリコプター「かちどき」を活用し、医療提供体制などに制約



消防防災ヘリコプター「かちどき」を活用し、医療従事者を派遣(小川島)

がある離島の全住民への接種や市町の取組を支援するための大規模接種会場の設置など、機動的かつ柔軟に取組を進めてきました。引き続き、医療関係者、市町、県が一体となって、希望される県民の方々への円滑なワクチン接種を進めていきます。

新型コロナウイルス感染症と診断された方へ

<https://www.pref.saga.lg.jp/list05373.html>



新型コロナワクチン接種について

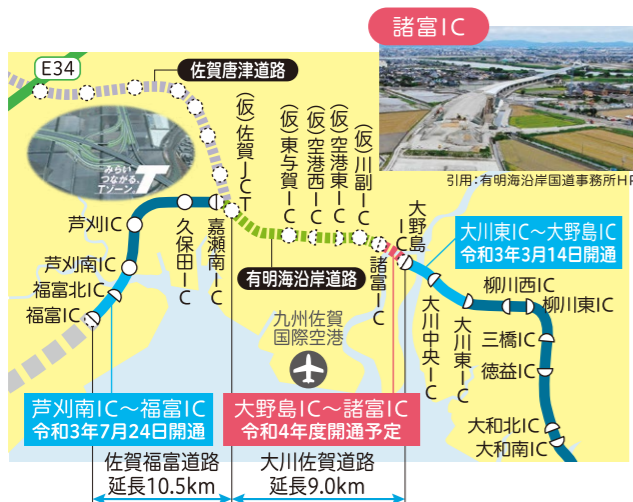
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00379899/index.html>



3 「広域幹線道路」でつながる佐賀のみらい

有明海沿岸道路や佐賀唐津道路、西九州自動車道、国道498号など、県内各地に道路網が広がっており、より早く、安全に、快適に道路を利用できるようになることで、人、モノ、地域の交流促進が期待されています。

今年度は、有明海沿岸道路の諸富ICまでの開通を予定しており、これにより、



佐賀県と福岡県が有明海沿岸道路で繋がります。また、有明海沿岸道路と佐賀唐津道路が接続する「Tゾーン」の整備も着々と進み、完成すれば九州佐賀国際空港や佐賀県医療センター好生館などの広域的なアクセスが飛躍的に向上することになります。
今後、広域幹線道路の整備を進め、地域の発展と県民のくらしを支える基盤づくりに努めていきます。



芦刈南IC~福富IC開通式

★ お問い合わせ先

- ②【新型コロナウイルス感染症対策】 医務課 ☎0952-25-7481 ✉imu@pref.saga.lg.jp
新型コロナウイルスワクチン接種調整チーム ☎0952-25-7584 ✉kenkoufukushiseisaku@pref.saga.lg.jp
- ③【広域幹線道路】 道路課 ☎0952-25-7156 ✉douro@pref.saga.lg.jp

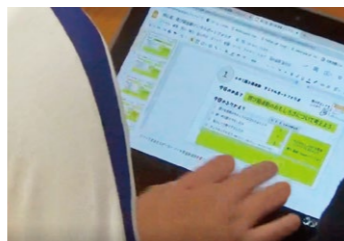




人を育む

NURTURING

昨年度からICT活用教育を「プロジェクトE」として進めており、今年度はEvolution(実践・進化)の段階として、市町立小中学校における1人1台端末を活用した指導改善を推進するため、様々な情報を提供する総合サイト「Eコネク」を開設します。また、佐賀県版英語デジタル教材の開発や県立学校におけるデジタル教科書の拡充など、デジタル化によって授業を改善し、子どもたちの学びの広がりを実現していきます。



ICTで学びの形も変わります

県教育委員会では、全国に先駆けてICT活用教育に取り組み、県立学校に1人1台端末を導入・活用しています。コロナ禍において授業や教育活動の様々な制限がある中でも、ICT活用の先進県としての強みを生かし、端末を活用した指導改善と教育活動のオンライン化を進めてきました。

1 ICT活用教育は進化します

県では、地域の中学生から「通いたい」、保護者から「通わせたい」と思ってもらえるような魅力ある高校づくり「唯一無二の誇り高き学校づくりプロジェクト」に取り組んでいます。

今年度は、地域と協力して学校運営をすることで学校の魅力を高める「SAGAコラボレーション・スクール(SCS)」に9校を指定します。また、自治体や企業、大学と連携し、新しい時代の教育内容を実践することで学校の魅力を高める「SAGASマート・ラーニング(SSL)」に8校を指定しています。

SCSでは、各学校に学校魅力強化委員会を設置し、学校の教育目標や運営方針を地域とともに作り上げ、地域と協働した教育プログラムを企画・運営していきます。また、学校魅力化アドバイザーによる専門的なアドバイスその他、重点校4校には学校魅力化コーディネーターを配置し、各校の魅力向上に取り組んでいきます。

有田工業・牛津・太良・白石
唐津青翔・高志館・神埼・鹿島・唐津西

学校魅力強化委員会

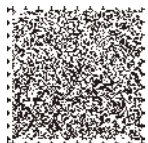
学校 地域

●活動テーマのブラッシュアップ
●協働活動による教育プログラムの企画・運営

※ 下線は重点校

★ お問い合わせ先

- ①【プロジェクトE】 学校教育課 プロジェクトE推進室 ☎0952-25-7363 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp
- ②【唯一無二の誇り高き学校づくり】 教育振興課 ☎0952-25-7424 ✉kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp



よかろうもん運転根絶広報動画お披露目式

4 交通事故のない安全な佐賀県へ

全国的にみても、佐賀県の人身交通事故の人口10万人あたりの発生件数は多くなっています。

県では、県民一人ひとりが「交通事故ゼロ」を自らの課題として認識し、交通安全の意識を高めてもらうため、デザイン力のよって行動変容を促す「SAGA BLUE PROJECT」を展開してきました。



ランドセルカバー贈呈式

5 地域での生活に、必要な医療を

今年度は、若者や高齢者の事故防止をテーマに、危険なスマホ使用運転をはじめめとする「よかろうもん運転の根絶」や「ハンドサイン横断」などを呼びかけ、交通事故を減らし、安全で安心な佐賀県の実現を目指します。

高齢化に伴い医療需要が増える中、誰もが安心して医療サービスを受けることができるよう、県では、医師の育成と県内定着を推進する「SAGA Doctor-Sプロジェクト」を進めています。

近年、地域の診療所の医師も高齢化が進み、近い将来、身近な医療を受けられない地域が出てくるのが予測されるため、

プロジェクトの一環で、市町と連携し、地域の医療機関に医師を派遣する仕組みを構築します。

まずは唐津市をモデルケースとして、佐賀県医療センター好生館が確保・育成する医師を「唐津市民病院きたはた」に派遣し、中山間地域などで必要な一次医療が提供される体制をつくります。

その後、段階的に支援を必要とする地域に取組を広げていくことで、県内全域において、安心できる医療提供体制づくりを進めていきます。



★ お問い合わせ先

- ④【SAGA BLUE PROJECT】 暮らしの安全安心課 交通事故防止特別対策室 ☎0952-25-7060 ✉kurashianzen@pref.saga.lg.jp
SAGA BLUE PROJECT URL <https://saga-blueproject.jp>
警察本部 交通企画課 ☎0952-24-1111(代表)
交通安全に関するお知らせ(県警) URL <https://www.police.pref.saga.jp/koutsu.html>
- ⑤【SAGA Doctor-Sプロジェクト】 医務課 医療人材政策室 ☎0952-25-7358 ✉imu@pref.saga.lg.jp



3 「SAGA部活」を推進します！

現在の部活動には、生徒数や部員数の減少とそれに伴う学校の小規模化、スポーツに対する生徒や保護者のニーズの多様化など、様々な課題があります。

県教育委員会では、部活動を生徒や教員のニーズに対応し、持続可能なものとするため、昨年7月にSAGA BUKATSUミライプロジェクト委員会で県内の部活動の在り方について協議を行いました。今後は学校と地域の連携を深めた新しい部活動の体制を「SAGA部活」と名付けて応援していきます。

子どもたちがスポーツや文化芸術に触れられる機会の確保や、子どもたちや指導者、それぞれの思いを形にした部活動改革の推進をコンセプトとし、学校と地域が連携・融合した活動となるよう支援していきます。



4 介護を担う若い世代を応援します！



佐賀の介護と出会うサイト「さがケア」



「キッズケア サガ」開催時の様子

介護の仕事は、人と人とのふれあいを通じ、感動と成長を実感できる素晴らしい仕事です。

「若い世代に介護の仕事をもっと身近に感じて知って欲しい」「将来の介護を担う人材として、活躍して欲しい」という想いから、小・中学生や高校生に介護に興味・関心を持ってもらい、介護の現場で活躍する若い世代を応援する事業に取り組んでいます。

小中学生向けの介護の仕事体験イベント「キッズケア サガ」の開催や佐賀の介護の仕事と出会うサイト「さがケア」での情報発信、介護の資格取得を目指す高校生への支援などにより、「佐賀の若者が佐賀の介護を支える」という気運醸成を図り、人材の確保や育成につなげます。

5 農業と福祉の連携で佐賀を元気に！

近年、農業分野では労働力不足が課題になっています。一方、福祉分野でも障害のある人たちの社会参加や収入の向上が課題になっています。

県では、障害のある人たちが農業分野で活躍することを通じて、農業分野と福祉分野双方の課題解決につながる「農福連携」を進めます。お互いを理解し合い、信頼して共同作業する姿は佐賀県が目指す自然なやさしさのカタチ「さがすたいる」※そのものでもあります。

今年度は農業分野と福祉分野それぞれにコーディネーターを配置し、農家と福祉作業所とのマッチング体制を強化。啓発活動などにも力を入れることで、成功事例を増やし、県内各地で「農福連携」が広がるよう取り組んでいます。



作業体験の様子



収穫後の枯れた親アスパラ撤去作業の様子

※県で取組を進めている、お年寄りや障がいのある方子育て・妊娠中の方など、みんなが自然に支え合い心地よく暮らせる、人にやさしいまちのスタイル

6 建設業の魅力を発信します

建設業は、県民の日々の暮らしを支え、佐賀の未来を形づくる創造的で素晴らしい仕事です。道路、河川、公園など社会資本の整備・維持管理だけでなく、災害が発生した際には最前線に対応し「地域の守り手」として、無くてはならない存在です。このため、県では建設業界と連携して、高校生をはじめとする若い人たちに建設業の魅力を実感してもらうための取組を行っています。

具体的には、県内土木・建築系の高校生を対象とした出前講座や建設業合同企業



SAGAサンライズパークツアー

7 ゆめさが大学卒業生の地域活動を後押しします！

説明会、小学生の親子や高校生を対象としたSAGAサンライズパークの建設現場見学会などを実施しています。また、建設業の魅力を実感する動画の配信や建設現場におけるICTの導入など最新の技術を紹介して、建設業だからこそ味わえる、ものを作り上げていく喜びをしっかりと発信し、人材の確保・育成につなげていきます。



建設業合同企業説明会

「ゆめさが大学」では、シニアの方々から学習活動を通じて新しい仲間と出会い、卒業後に地域社会で明るく積極的に活動いただくためのカリキュラムが組まれています。実際に、ゆめさが大学の卒業生を中心とした団体・グループは、高齢者施設への訪問や環境保全活動などの地域活動を実践されており、地域からのニーズや



環境保全活動の様子

評価も高く、地域社会を支える担い手として活躍されています。今年4月には、ゆめさが大学事務局内に、相談や活動受入れ先とのマッチング支援を行う「ゆめさがアシストセンター」を設置しました。

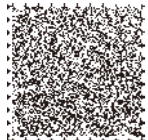
これまで以上に、卒業生が地域活動の担い手や「シニア地域サポーター」として活躍できるよう支援していきます。



高齢者施設での演芸披露

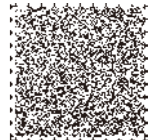
★ お問い合わせ先

- ⑥【建設業担い手確保推進】 建設・技術課 ☎0952-25-7153 ✉ kensetsu-gijutsu@pref.saga.lg.jp
- ⑦【ゆめさが・地域活動支援】 長寿社会課 ☎0952-25-7054 ✉ tyoujyusyakai@pref.saga.lg.jp
ゆめさが大学(佐賀県長寿社会振興財団) URL <https://sagachouju.jp/yumesaga/>



★ お問い合わせ先

- ③【部活動改革】 保健体育課 ☎0952-25-7235 ✉ hoken-taiiku@pref.saga.lg.jp
- ④【介護人材育成】 長寿社会課 ☎0952-25-7105 ✉ tyoujyusyakai@pref.saga.lg.jp
さがケア URL <https://saganokaigo.jp/>
- ⑤【農福連携】 障害福祉課 就労支援室 ☎0952-25-7389 ✉ shougai Fukushi@pref.saga.lg.jp
農業経営課 ☎0952-25-7118 ✉ nougyoukeiei@pref.saga.lg.jp



あなたの2022年の旅のSとN
佐賀と長崎へ
出発進行!

佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン
2022.10.1(土) ▶ 12.31(土)



佐賀の魅力を発信

OUTGOING



3 国内最大級の観光キャンペーンが始まります

10月から12月までの3か月間、JRRグループ6社と佐賀県・長崎県が協力して実施する「佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン」を開催します。「あなたの旅のコンパスをSとNへ 佐賀と長崎へ出発進行!」のキャッチコピーのもと、日本全国から観光客を呼び込みます。全国のJR主要駅に、9月は、ポスターを掲出し、10月・12月は、公式ガイドブックを設置するなど、キャンペーンを広く周知していきます。佐賀ならではの素晴らしい自然や歴史、文化、食など、様々な魅力で、全国のお客様をおもてなしします。

1 西九州新幹線の開業効果を各地に広げます

今年の9月23日、西九州新幹線がいよいよ開業します。県では、このたびの開業を観光客を呼び込む大きなチャンスと捉え、多くの人に訪れてみたい、住んでみたいと思っただけのように、佐賀の魅力を引き上げる取組を入れていきます。



4 佐賀での暮らしのスタートを応援します!

県では、地域の担い手不足の解消や地域課題の解決を図るため、市町とともに移住・定住促進に取り組んでおり、今年度からは、東京圏だけでなく、東京圏以外から移住された49歳以下の方にも移住支援金の支給対象を広げます。県内の中小企業や農林水産業、スポーツ振興などの仕事に就かれたり、空き家バンクを通して空き家を取得されたりするなど、要件に該当される場合に、「さが暮らしスタート支援金」(単身の場合は60万円、世帯の場合は100万円)を支給します。佐賀での暮らしのスタートを支援すること、県内への移住者の増加につなげていきます。

5 歩くライフスタイルで過ごしやすい元気な佐賀県に! 歩こう。佐賀県。

県では、「歩こう。佐賀県。」をスローガンに、歩くことや自転車、公共交通などを生活に積極的に取り入れる「歩くライフスタイル」を推進しています。

県内の各地域に息づく文化や歴史、伝統など、佐賀ならではの魅力を全国に発信することで観光客の周遊を促し、新幹線が停車する武雄や嬉野をはじめ、鹿島や太良といった長崎本線沿線地域、さらには、唐津や伊万里、有田、吉野ヶ里など県内各地に開業効果を広げていきます。

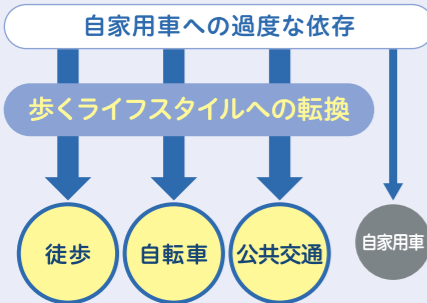
2 “ロマンシング佐賀列車”で地域を周遊

県と(株)スクウェア・エニックスの「サガ」シリーズは、これまで継続して「ロマンシング佐賀」事業に取り組みしており、ゲーム内での佐賀県とのコラボや、ロマ佐賀マンホールの設置、佐賀が誇る温泉地での佐賀風呂イベントを行うなど、様々な実績を積み重ねてきました。今年度はJR唐津線、筑肥線(山本-伊万里間)において、ロマンシング佐賀列車を運行するなど、県内を周遊するきっかけを作り、全国に佐賀ファンを増やしていきます。



今年5月には、歩く楽しさを感じてもらおう、まちなか周遊の拠点として、県庁北側のくすかぜ広場(愛称「ARKS(アルクス)」)が生まれ変わりました。今後も、県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」を使って、佐賀城周辺や、佐賀駅からSAGAサンライズパークまでの通り、西九州新幹線の停車駅となる武雄温泉駅と嬉野温泉駅の周辺などで、歩きたくなるような取組を展開していきます。佐賀で暮らし人も、佐賀を訪れる人も歩きたくなる、まちも人も元気で過ごしやすい佐賀県を目指します。

佐賀県は、「歩くライフスタイル」を推進しています。

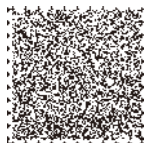


★ お問い合わせ先

- ③【佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン】 観光課 ☎0952-25-7098 ✉kankou@pref.saga.lg.jp
佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン URL <https://www.saga-nagasaki-dc.jp/>
- ④【さが暮らしスタート支援】 さが創生推進課 移住支援室 ☎0952-25-7393 ✉sagaiju@pref.saga.lg.jp
さが暮らしスタート支援事業 URL <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00385867/index.html>
- ⑤【歩くライフスタイル】 交通政策課 ☎0952-25-7525 ✉koutsuuseisaku@pref.saga.lg.jp
歩こう。佐賀県。URL <https://aruko.saga.jp/>

★ お問い合わせ先

- ①【西九州新幹線開業】 さが創生推進課 ☎0952-25-7506 ✉sagasousei@pref.saga.lg.jp
- ②【ロマンシング佐賀列車】 企画チーム ☎0952-25-7360 ✉kikakuteam@pref.saga.lg.jp
ロマンシング佐賀2022 URL <https://romasaga.jp/2022/>



挑戦を続ける 産業づくり

INNOVATION

1 宇宙関連ビジネスの 創出を目指します！

世界の宇宙ビジネスの市場規模は2040年には現在の約3倍の100兆円を超えるると予測されており、国内でもロケットの開発や射場の整備、人工衛星の製造・打ち上げなど宇宙に関連する取組が活発化しています。

県では昨年3月にJAXAと地方創生に関する連携協定を締結し、宇宙技術を防災や教育などの地域課題の解決に活用するための取組を始めました。今年度からは、県内に宇宙ビジネスの潮流を創るため、宇宙ビジネスの最新動向や人工衛星の活用事例などを紹介したり、県内の事業者が宇宙ビジネスに参入する



企業向けセミナー

ため、宇宙関連企業とマッチングを行います。さらに、マツチングから生まれたアイデアの可能性を探る社会実証の支援などを行います。

2 世界に羽ばたく 起業家の聖地を目指して



学生向けイベント「アイデアソン」の様子

「起業家とのダイレクトなコミュニケーション」などの特色を持つ「佐賀型」の支援に取り組んでいます。その結果、この数年で全国のビジネスプランコンテストで賞を獲得したり、大手企業との協業が実現する例も増えてきました。また、今年3月に経済産業省九州経済産業局が選定した「J-startup KYUSHU」には、県の支援プログラムを受けている企業のうち、2社が将来有望な企業として選ばれています。

これからも、佐賀だからこそできるスタートアップ支援に取り組んでいくことで、世界を目指す起業環境をつくり、「スタートアップの聖地」を目指していきます。

※九州経済産業局と関係自治体などが連携し、地域の有望なスタートアップ企業を支援するプロジェクト



3 佐賀を、 コスメの研究拠点に！

県では、美と健康に関する産業の集積を目指す「コスメティック構想」を推進しています。昨年6月には、佐賀を拠点とした最先端の研究に取り組むため、数々の有名ブランド化粧品の開発に貢献しているコスメ研究の第一人者とともに、佐賀大学内に「化粧品科学 共同研究講座」を設置しました。



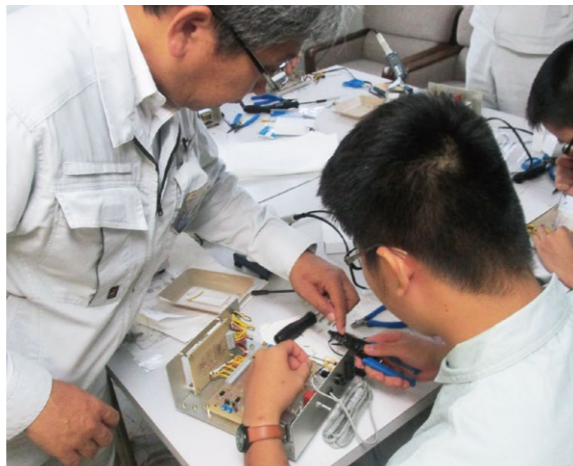
とくどめよしひろ
特任教授 徳留嘉寛氏 / 佐賀大学 研究室にて

化粧品を科学的に学ぶ

4 佐賀のものづくりの DNAを次世代へ

県では、佐賀のものづくりのDNAが次世代へ受け継がれ、技能を持つ人が尊重されるとともに、若者が誇りと自信を持つものづくりに従事できる社会の実現を目指しています。

このため、県内就業者や県内高校生などを対象にもものづくりの技能検定試験の受検料を県が独自に減額することで、技能検定試験の受検を促進し、若年技能者の技能向上を支援しています。



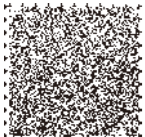
熟練技能者が指導を行う様子

また、ものづくりの技能競技大会に出場する若年技能者や技能検定試験を受検する高校生などを対象に、熟練技能者による実践的な指導に対する補助などを行うことで、次世代を担う若年技能者を育成していきます。



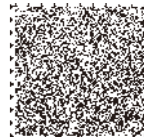
★ お問い合わせ先

- ③【コスメ技術開発・人材育成】 ものづくり産業課 コスメティック構想推進室 ☎0952-25-7397
✉ monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp
化粧品科学 共同研究講座(佐賀大学) URL <http://cosme.suric.saga-u.ac.jp/>
- ④【若年技能者の技能向上支援】 産業人材課 ☎0952-25-7310 ✉sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp



★ お問い合わせ先

- ①【宙(そら)への扉プロジェクト】 企画チーム ☎0952-25-7360 ✉kikakuteam@pref.saga.lg.jp
- ②【“佐賀型”スタートアップ支援】 産業政策課 DX・スタートアップ推進室 ☎0952-25-7586 ✉innovation@pref.saga.lg.jp
SAGA Innovation & Creative Lab. URL <https://www.facebook.com/SagaClab/StartupGatewaySAGA> URL <https://www.sgsaga.jp>



5 DX人材、 Samuraiに加えて 今年はNinjaも！

デジタル技術の発達で、これまで「不可能」と思われてきたことが次々と現実となっていく。昨今、その担い手となる「デジタル人材」が全国的に不足しています。県では令和2（2020）年から、AIなどの開発に用いられるプログラミング言語「Python（パイソン）」が学べる講座『SAGA Smart Samurai』を開講し、2年間で約300名のデジタル人材を育ててきました。



講座開催時の様子

さらに今年度には、プログラミングを行わなくても業務効率化に必要なアプリやシステムを作ることができるノーコード^{※1}やSaaS^{※2}などが学べる講座『SAGA Smart Ninja』を新たに開設し、企業内DXのけん引役となる人材を育てます。

※1/プログラミングの知識やスキルが無くてもアプリが開発できるサービス
※2/必要な機能が必要な分だけ利用できるようなしたソフトウェア

6 県内に産業DXを 広げていきます！

今までできなかったことがデジタル技術により手軽にできるようになり、県内企業がその潮流をリードする存在となるよう、県では平成30（2018）年10月に「産業スマート化センター」を開設し、県内企業に対してデジタル技術の導入に向けた相談対応やIT企業とのマッチング、DXに関連するセミナー・研修の実施などに取り組んできました。



産業スマート化センターショールーム

さらに今年度には、「DXの裾野拡大」をテーマに、新たに1,000社の県内企業を訪問して啓発を行う「DXコミュニケーションータ」や企業に寄り添い伴走支援を行う「DXアクセラレータ」にも取り組みます。



7 デジタル技術を活用して ものづくりの魅力を 発信します



VR体験の様子

県内のものづくり産業が持続的に成長し、その技術・伝統を将来にわたって発展・継承するためには、小中学生の早い段階からものづくりに対する興味・関心を高め、ものづくりに志す子どもたちを増やす必要があります。そのため、県では、VR溶接シミュレーターの活用により子どもたちに安全に溶接を体験してもらうとともに、最新のデジタル技術を活用して工場をバーチャルで体験できるコンテンツを作成します。

また、ものづくりに携わる「人」にフォーカスし、子どもたちにもものづくりのカッコよさ、美しさ、楽しさ、やりがいを感じる動画を制作することにより、技能者への憧れを醸成します。

これらの取組を通じ、ものづくりを志す小中学生の増加につなげていきます。

8 県の研究機関や 情報発信拠点のDX

県の研究機関では、デジタル技術を活用し、技術相談や依頼試験^{※1}、技術講習会をオンラインで実施することにより、企業の方が研究機関を訪れなくても支援を受けられる体制を整えます。

また、県産品の情報発信拠点である佐賀駅前の「SAGAMADO（サガマド）」と空港内にある「sagair（サガエア）」では、より良い商品開発と販売促進のために、デジタル技術を活用したテストマーケティング^{※2}機能を強化し、そのリサーチ結果を県内の出品事業者にフィードバックして、県産品の魅力アップに取り組みます。

※1/企業などの依頼にもとづき、分析・測定・試作などを研究機関の職員が実施する試験

※2/試験的に商品販売して、市場の反応などを把握すること



SAGAMADO



企業の方とのオンラインでのやりとりの様子

9 再生可能エネルギー施設の 観光資源化を目指します

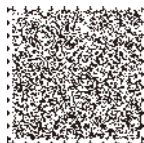
県では、SDGsや2050年カーボンニュートラル[※]に向けた機運の高まりを受け、「再生可能エネルギー」をテーマとした周遊ツアーの実現を目指しています。県内には、県外からの視察や見学を受け入れる再生可能エネルギー関連施設が複数ありますが、地理的に分散しており、個々の受け入れにとどまっています。これらの点と点を繋ぎ、豊かな自然や歴史的・文化的な観光資源と組み合わせ、「エナジーツーリズム」としてパッケージにすることで、幅広い年代から新たな視察旅行や環境教育旅行などとして活用いただき、県内経済への波及効果を高めていきます。

※政府は2050年までに温室効果ガス（CO2など）の排出量と吸収量をプラスマイナスゼロとするカーボンニュートラルを目指すことを宣言



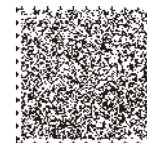
★ お問い合わせ先

- ⑦【ものづくり魅力発信】ものづくり産業課 ☎0952-25-7421 ✉monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp
- ⑧【研究機関、情報発信拠点DX】ものづくり産業課 ☎0952-25-7421 ✉monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp
流通・貿易課 ☎0952-25-7095 ✉ryuutsuu-boueki@pref.saga.lg.jp
SAGAMADO URL https://sagamado.jp/ sagair URL https://sagair-saga.com/
- ⑨【エナジーツーリズム】新エネルギー産業課 ☎0952-25-7380 ✉shin-ene@pref.saga.lg.jp



★ お問い合わせ先

- ⑤【SAGA Smart Samurai & Ninja】産業政策課DX・スタートアップ推進室 ☎0952-25-7586 ✉innovation@pref.saga.lg.jp
SAGA Smart Samurai & Ninja URL http://sagapgd.com/
- ⑥【DXコミュニケーションータ・DXアクセラレータ】産業政策課DX・スタートアップ推進室 ☎0952-25-7586 ✉innovation@pref.saga.lg.jp
佐賀県産業スマート化センター URL https://www.saga-smart.jp/





森川海人っ
プロジェクト
キャプテン
もりかわかいと
森川海人くん

佐賀の宝を 未来へつなぐ

TREASURE



3 山を守り育てるために 林業再生を目指します！

海外における木材需要の急増を背景とした「ウッドショック」により、県産木材の価格が高値で推移しています。森林所有者の山への関心が高まる今、佐賀の山を守り育てるために林業の再生を図ることが重要です。

そこで県では、「さがの林業再生プロジェクト」として、森林組合などが作業効率向上のために行う林業機械の導入や、



高性能林業機械の見学

1 「OPEN-AIR佐賀」 北山キャンプ場(仮称)と 21世紀県民の森の魅力向上

現在、改修工事のために休場している北山キャンプ場(仮称)では、オートサイト※やWiFi環境など、近年のキャンプ場利用者の方々のニーズに対応した、より魅力ある施設として来年夏頃にリニューアルオープンできるように、準備を進めています。

また、21世紀県民の森では、ダム湖周辺で自然を満喫できる環境づくりのため、ウッドデッキの拡張、サイクリングロードのビュースポット整備、ローラースライダーの整備、SNSによる情報発信やリモートワークを快適に利用できるWiFi環境の整備などを行います。

これからますます魅力的なエリアになっていく北山湖周辺に、ご期待ください。

※サイト内に車を駐車することができるキャンプサイト



チェーンソーの操作体験

小規模で分散している森林の集約化活動を支援し、森林施業のコスト削減を実現することで、収益増や林業就業者の待遇改善を目指します。

また、今年度からは「さが林業アカデミー」を開講し、林業に意欲のある人材を育てることで、林業の担い手の確保を図ります。

4 園芸農業の産出額を 888億円へ！

県では、稼げる農業を実現するため、令和元(2019)年度から、生産者や関係機関・団体と一体となり、園芸農業を振興する「さが園芸888運動」を展開しています。

今年度からは、これまで取り組んできた園芸ハウス団地の整備や高品質なみかん生産が可能な根域制限栽培※の推進などに加え、収益性の高い「いちごさん」への切り替えを契機とした、大規模

2 川をもっと身近に、 川が楽しくKAWARU!



県では、森・川・海の豊かな自然環境を守り、未来へ継承するため「森川海人っプロジェクト」に取り組んでいます。その一環として、県民の皆さんが川に親しむきっかけをつくるため、「KAWARUプロジェクト」を令和元(2019)年度に開始しました。

今年度も、新たに川に親しむイベントや学習会を行う団体への活動支援事業「KAWARUチャレンジ事業」、森・川・海それぞれで活動する団体同士のネットワーク構築のための交流会を開催します。また、環境学習など啓発活動も予定しています。

県民の皆さんが川に親しむ活動を通して、川の魅力を感じ、学ぶ機会を提供していきます。



川下り体験(佐賀市)



川床体験(伊万里市)

農家の育成などによるいちご産地の活性化を図るプロジェクトの実施や、大型コンテナを利用した省力集荷システムの導入、病害対策などによる高品質たまねぎの生産拡大にも新たにチャレンジします。このような取組を進め、令和2(2020)年に597億円であった園芸農業の産出額を令和10(2028)年には888億円まで伸ばすことを目指します。

※防根シート上に盛った土に樹を植えることで根が伸びる範囲を制限し、糖度を高める栽培方法



収益性の高い「いちごさん」



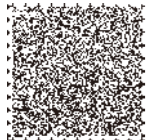
大型コンテナを利用したたまねぎの収穫作業



高品質なみかんを生産できる根域制限栽培

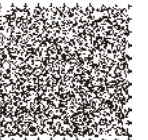
★ お問い合わせ先

- ③【林業再生プロジェクト】 林業課 ☎0952-25-7132 ✉ringyou@pref.saga.lg.jp
- ④【さが園芸888運動】 園芸農産課 ☎0952-25-7114 ✉engeinousan@pref.saga.lg.jp
さが園芸888運動 URL <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00381751/index.html>



★ お問い合わせ先

- ①【OPEN-AIR佐賀】 有明海再生・自然環境課 ☎0952-25-7349 ✉ariakekaisaisei@pref.saga.lg.jp
森林整備課 ☎0952-25-7134 ✉shinrinseibi@pref.saga.lg.jp
21世紀県民の森(総合案内センターほおのき) URL <http://www.smile-e.org/>
- ②【KAWARUプロジェクト】 河川砂防課 ☎0952-25-7161 ✉kasensabou@pref.saga.lg.jp
KAWARUプロジェクト URL <https://www.pref.saga.lg.jp/list05210.html>



歴史・文化を 守り伝える

HISTORY



1 唐津出身の3巨匠の 偉業に迫る建築展を開催!



辰野金吾が設計した東京駅

「辰野金吾」「曾禰達蔵」「村野藤吾」の3人は唐津出身です。

今回、佐賀が誇るこの3人に光をあてた企画展「建築の建築」を佐賀県立博物館で開催します。作品や業績だけでなく、偉人たちの生涯や生まれ育った唐津に着目し、その源泉に迫る展示を行います。また、現代アーティストとコラボし、新たな切り口で建築の魅力を紹介します。

唐津出身の3巨匠が成した偉業と志を紐解き、体感できる展覧会に、ぜひご来館ください。

「建築の建築」展

令和4(2022)年9月6日(火)
～10月27日(木)

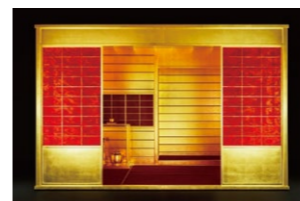
2 名護屋城跡・陣跡の 魅力を発信

唐津市鎮西町・呼子町及び玄海町一帯に広がる「名護屋城跡並びに陣跡」は、豊臣秀吉や徳川家康など全国の名だたる約160もの武将が滞在した城郭の遺跡群です。当時の名護屋城は、能や茶道、和歌、華道、仮装などによる文化交流が盛んに行われた日本文化発展の「はじまりの地」です。

県では、「はじまりの名護屋城」をコンセプトに名護屋城の魅力発信に取り組んでいます。全国でどこでもできない「黄金の茶室」での呈茶体験や名護屋城博物館での特別企画展、城跡・陣跡への周遊促進のためのサイン(案内表示)整備、木下延俊(秀吉の甥)陣跡の再整備のほか、城跡で茶会イベントを開催するなど、名護屋城跡・陣跡の価値と歴史資産の豊かさを発信していきます。



大茶会イベントの様子



黄金の茶室

3 特別展 「生誕200年 島義勇」を 開催します



島義勇肖像写真

写真提供:佐賀城本丸歴史館

今年には北海道開拓に力を尽くした佐賀の偉人・島義勇の生誕200年に当たります。これを記念して佐賀城本丸歴史館では、島の功績や人物像に迫る特別展を開催します。

島は幕末の佐賀が生んだ逸材であり、明治という新たな時代の幕開けに多方面で活躍しました。青年時代の交友や蝦夷地※探検、戊辰戦争での活躍、北海道開拓、そして初代秋田県権令(現在の県知事)時代の業績などを様々な関連資料を通じて紹介します。

会期中には展示内容をより深く学べる記念講演会や歴史館ゼミナール、島とゆかりの深いアイヌ民族の文化に親しんでいただけるイベントを開催します。

※現在の北海道のこと

4 大隈重信の 志を未来に繋げる 「高輪築堤」

明治5(1872)年、東京・新橋と横浜を結ぶ、日本初の鉄道が開業しました。そして、この大事業を成功に導いたのは、佐賀の偉人・大隈重信でした。

鉄道開業に向け、用地取得が難航した際、大隈が「陸がだめなら、陸蒸気を海に通せ」と命じ、遠浅の海に堤を築き、その上に線路を通して造られたのが「高輪築堤」です。

佐賀県立博物館の敷地内では、実際に築堤に用いられていた石を使い、遺構の

特別展「生誕200年 島義勇」

令和4(2022)年10月7日(金)
～12月11日(日)

一部を模して再現しています。博物館内では、築堤に用いられた石の展示と、迫力ある映像劇で鉄道開業を成し遂げた大隈のダイナミックな発想力や決断力を伝えています。

さらに、大隈重信記念館、早稲田佐賀中学校・高等学校の2カ所でも、実際に築堤に使われていた石を展示しています。大隈の志を今に伝え、未来に繋いでいきます。



博物館内の展示



高輪築堤(再現展示)



リーフレット

★ お問い合わせ先

- ③【島義勇展】 佐賀城本丸歴史館 ☎0952-41-7550 ✉rekishikan@pref.saga.lg.jp
佐賀城本丸歴史館 URL <https://saga-museum.jp/sagajou/>
- ④【高輪築堤】 文化課 ☎0952-25-7253 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp
佐賀県 日本を拓いた鉄の道 高輪築堤 URL <https://www.pref.saga.lg.jp/chikutei/>



★ お問い合わせ先

- ①【「建築の建築」展】 文化課 ☎0952-25-7236 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp
- ②【「はじまりの名護屋城。」】 文化課 ☎0952-25-7236 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp
はじまりの名護屋城。 URL <https://www.hajimari-nagoya.jp>
名護屋城博物館 ☎0955-82-4906 ✉nagoyajouhakubutsukan@pref.saga.lg.jp
名護屋城博物館 URL <https://saga-museum.jp/nagoya/>



人にやさしいまちづくり

SUPPORT



1 さがらしい、やさしさのカタチ「さがすたいる」



さがすたいる 倶楽部店舗



レッツさがすたいるトーク

お年寄りや障がいのある方、子育て・妊娠中の方など、みんなが自然に支え合い心地よく暮らせる、人にやさしいまちのスタイル「さがすたいる」を広める取組を行っています。

誰もが暮らしやすい環境づくりには、段差の解消などハード面の整備とともに心（ハート）のバリアフリーが大切です。

「さがすたいる」の想いに賛同する店舗などを専用サイトで紹介し、誰もが安心して街に出かけるための情報発信をすることも、学校向けの出前講座やイベントなどで障がいのある方と交流することで、心の壁をなくし、みんなが自然と支え合える関係づくりを行っています。

今後は、県の取組やイベントなどへも様々な当事者の方からアドバイスを受けられる機会を増やし、当事者の視点を反映させていくことで、みんなが心地よく暮らせる佐賀県を目指します。

2 佐賀県医療的ケア児支援センターの開設

今年4月、県では、医療的ケア児の保護者や支援者向けの相談支援窓口として、「佐賀県医療的ケア児支援センター」を開設しました。これは、昨年度、県が独自に開設した「佐賀県医療的ケア児在宅生活ホットライン」に個別訪問による相談機能を充実させたものです。また、子どものケアを続けながら就労を希望される保護者のニーズを踏まえ、新たに配置した就園支援コーディネーターの働きかけによって、保育所や幼稚園における医療的ケア児を受け入れる環境づくりを進めています。

今後も子どもの成長と共に変化する保護者の想いやニーズにしっかり寄り添いながら支援に取り組んでいきます。



5 医療用補正具の助成をします

がんは、医療技術の進歩により、早期発見、早期治療で9割以上が治る病気になったと言われていますが、抗がん剤の副作用による脱毛や手術による乳房切除など、がん治療による外見の変化に悩まれている方がいらっしゃいます。

そこで、県では、医療用ウィッグ^{※1}や乳房補正具^{※2}を対象に購入費用の一部を補助^{※3}します。

がん患者の方の気持ちを少しでも和らげることができるよう、がんになっても安心して暮らすことができる環境づくりを進めていきます。

※1/脱毛時に一時的に着用するかつら

※2/パッドなどにより切除した乳房を補正する下着

※3/申請はお住いの市町担当課へお問い合わせください。

3 視覚障害の方などの交流拠点「あいさが」が誕生しました

今年4月、佐賀県立視覚障害者情報・交流センター「あいさが」が誕生しました。視覚障害などにより読書に困難を抱える方々への図書の貸出、ICTを活用したコミュニケーション支援や情報提供、コーディネーターによる相談支援、啓発事業、支援者・関係者の方々などの交流事業を行います。触れる絵本や大きな文字で書かれた拡大図書や録音図書も充実しています。



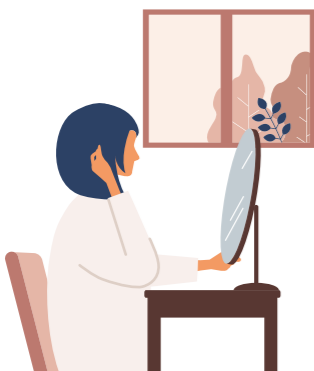
4 骨髄等移植の円滑な実現を後押しします

骨髄等移植[※]は、白血病などの血液をうまく造ることができない病気になった場合の治療法の一つです。移植は、患者とドナーの白血球の型が一致していることが前提ですが、白血球の型が一致するドナー候補者を見つけることができて、仕事を休むなどの心理的・経済的負担が生じるため、ドナーになることを辞退される場合があります。

そこで県では、市町と連携し、ドナーやドナーを雇用している事業主に対して助成を行います。

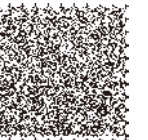
この取組により、安心してドナーになることができる環境を整備し、骨髄等移植を円滑に実現できるように後押しします。

※骨髄移植または抹消血幹細胞移植によりドナーから患者へ造血幹細胞（血液細胞を造るもととなる細胞）を移植すること



★ お問い合わせ先

- ③【視覚障害者情報・交流センター】 障害福祉課 ☎0952-25-7401 ✉shougaiukushi@pref.saga.lg.jp
佐賀県立視覚障害者情報・交流センター URL <http://sagaten.sakura.ne.jp>
- ④【骨髄等移植支援】 健康福祉政策課 ☎0952-25-7074 ✉kenkoufukushiseisaku@pref.saga.lg.jp
- ⑤【アピアランスケア支援】 健康福祉政策課 がん撲滅特別対策室 ☎0952-25-7491 ✉kenkoufukushiseisaku@pref.saga.lg.jp
がんポータルさが URL <https://ganportal-saga.jp/josei/appearance>



子育てし大県 “さが”

HAPPY



1 子育てし大県”さが”の魅力を県内外に発信

出会い・結婚から、妊娠・出産、子育てまで、ライフステージに応じた切れ目ない支援を行う「子育てし大県”さが”」。平成27(2015)年にスタートし、現在では、約70もの事業を展開しています。

そのような中、忙しい子育て世帯が、様々な子育て情報を、より簡単にワンストップで得られるよう、子育て世代の多くが利用されている通信アプリ「LINE」を活用した情報発信を行います。

また、これまで積み重ねてきた佐賀ならではの子育て支援や、魅力ある佐賀の子育て環境を、さまざまな場面を通じて



佐賀県子育て応援キャラクター さがつびい

2 「幸せのスタート」を応援します！

県内外に広く発信し、「佐賀で子育てしたい！」と、たくさんの方に思ってもらえるように取り組んでいきます。



佐賀で暮らす、すべての人々の幸せを応援する動画「Start in Saga」(YouTube)

新型コロナウイルスの影響により、結婚式に参加する機会が減少し、友人の幸せな姿を見て結婚に憧れを抱くなど「結婚を意識する機会」も減少しています。

こうした中、結婚に対する気運を高めるため、結婚や家族の良さを伝えるスペシャルムービー「Start in Saga」の放映や、サガン鳥栖のホームゲームや吉野ヶ里歴史公園といった佐賀県ならではのコンテンツを活用した結婚式を開催します。

結婚を意識する機会を増やすことで、1人でも多くの方が佐賀で「幸せのスタート」を切ることができるよう応援していきます。

3 「子育てし大県”さが”」で吉野ヶ里へGO!

「子育てし大県”さが”」プロジェクトの一環として、平成28(2016)年度から吉野ヶ里歴史公園の入園料が期間限定で無料になる招待券「子育てし大県”さが”」を配布しています。

県内はもちろん、近県の子育て世代の方にもご利用いただき、入園者数は年々増えています。



4 子どもを持ちたいと望む方に寄り添います

県では、これまで、子どもを持ちたいと望む方の支援として、不妊治療費の助成を行ってきました。

今年4月から、一部の不妊治療が医療保険適用となりましたが、まだまだ経済的にも精神的にも負担は大きいものと考えられます。そのため、希望

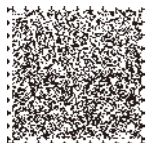


する治療がより受けやすくなるよう、不妊治療にかかる保険診療費の一部負担額に対し助成金を支給するとともに、これまで、対面のみで行っていた専門医師などによる相談に、新たにオンライン相談を加えるなど、支援の充実を図っています。

今後、子どもを持ちたいと望む方にしっかりと寄り添った支援を進めていきます。

★ お問い合わせ先

- ③ 【吉野ヶ里歴史公園】 まちづくり課 ☎0952-25-7159 ✉machizukuri@pref.saga.lg.jp
- ④ 【不妊の悩み支援】 子ども家庭課 ☎0952-25-7056 ✉kodomo-katei@pref.saga.lg.jp
不妊治療助成について URL <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00334393/index.html>



★ お問い合わせ先

- ① 【佐賀での子育てさいこう事業】 こども未来課 ☎0952-25-7381 ✉kodomomirai@pref.saga.lg.jp
【子育てし大県”さが”推進事業】 子育てし大県”さが”公式LINE URL <https://lin.ee/Scmtu3h>
- ② 【さがウェディングストーリー発信】 こども未来課 ☎0952-25-7381 ✉kodomomirai@pref.saga.lg.jp
佐賀で暮らす、すべての人々の幸せを応援する動画「Start in Saga」(YouTube) URL <https://www.youtube.com/watch?v=tnaMd7bb3p8>



あふれる スポーツのチカラ

SPORTS



1 アスリートの「育成」を さらに進めていきます！

県が平成30(2018)年から「SAGAスポーツピラミッド(SSP)構想※」に取り組み中、日本一に輝く高校生が増加し、パリオリンピック・パラリンピックを目指す選手も育っています。

若いアスリートの育成をさらに進めるため、デジタル技術を活用した育成環境の充実、官民連携によるアスリート寮の運営や、西九州大学と連携した栄養学の活用などに取り組みしていきます。

また、社会人アスリートの県内企業への就職支援などアスリートの人生に寄り



アスリート寮の外観



朝食の様子

SSP
公式HPIは
コチラ

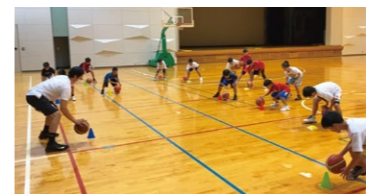


2 プロバスケットボールで 佐賀を元気に！

佐賀県をホームとして活躍するプロバスケットボールチームを知っていますか。

佐賀市がホームタウンのB2リーグのチーム「佐賀バルナーズ」、唐津市がホームタウンの3人制バスケットボールのチーム「レオブラックスサガ」と「レオナイナース」です。

県では、県内市町や経済団体、各種団体と連携して、今年度から新たに、チームの認知度を高め



プロチームによるバスケットボール教室

るため、県内各地で子どもたちと交流するバスケットボール教室の開催や、プロバスケットボールの試合を見るきっかけづくりのための観戦招待、県民を挙げて応援する気運を醸成するための広報などに取り組みます。

これらの取組を通じて、チームを知ってもらい、ファンを増やしていくことで、県民のスポーツ文化のすそ野の拡大を図っていきます。

3 2024年、佐賀から 新しい大会がはじまる！

PROJECT IDEA 2024

国体から国スポに変わる今
みんなで何が出来る？

国内最大のスポーツの祭典「国民体育大会」が、2024年に新しく「国民スポーツ大会」へと生まれ変わります。

その取組のひとつとして「プロジェクトIDEA2024」を推進しています。すべての人を対象に、「スポーツだから

できるアイデア」を募集し、現在、「注目選手・チームのアナザーストーリー」「スポーツ漫画を活用した体験機会の創出」などのアイデアの実現に向けて取り組んでいます。

アイディアは、2023年9月末まで随時募集していますので、ぜひ、ご応募ください。

みなさんのアイデアで新しい大会をつくり上げていきましょう！

IDEA2024
公式HPIは
コチラ



国民スポーツ大会

2024年10月5日(土)～15日(火)
※会期前実施競技：9/5(木)～17(火)、
9/21(土)～10/1(火)

全国障害者スポーツ大会

2024年10月26日(土)～28日(月)

4 グランドオープン間近！ SAGAサンライズパーク

「SAGA2024」を契機として県が進めてきたSAGAサンライズパークの整備がいよいよ佳境を迎えています。

昨年10月には、水泳場「SAGAアクア」がオープンし、今年5月には、陸上競技場「SAGAスタジアム」が日本陸連第1種



SAGAサンライズパーク完成イメージ



SAGAアリーナ外観



SAGAスタジアム

SAGA
サンライズパーク
完成イメージ
動画はこちら！



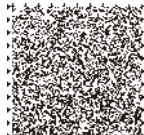
公認陸上競技場として全面リニューアルしました。

そしていよいよ、約8,400席の九州最大級の多目的アリーナ「SAGAアリーナ」が、来年春にオープンを迎えます。プロスポーツの試合やコンサート、家族で楽しめるエンターテインメント、そして、これまで佐賀で実現できなかった大規模な会議や展示会など、様々なシーンを実現していきます。

夢や感動を生み出すスポーツ・文化の一大拠点として、『さが躍動』の象徴的エリアに生まれ変わるSAGAサンライズパークに、どうぞご期待ください。

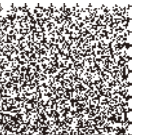
★ お問い合わせ先

- ①【SAGA2024】 SAGA2024企画広報チーム ☎0952-25-7553 ✉saga2024kikaku@pref.saga.lg.jp
SAGA2024公式 URL <https://www.saga2024.com>
- ②【SAGAサンライズパーク】 SAGAサンライズパーク整備推進課 ☎0952-25-7482 ✉sunrisepark@pref.saga.lg.jp
SAGAサンライズパーク整備事業 URL <https://www.pref.saga.lg.jp/list03887.html>



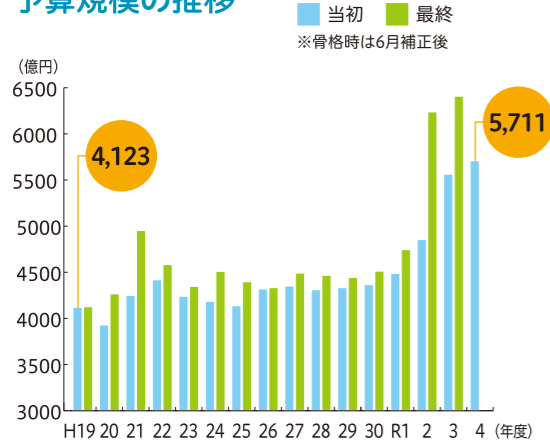
★ お問い合わせ先

- ①【SAGAスポーツピラミッド構想】 SAGAスポーツピラミッド推進グループ ☎0952-25-7345 ✉ssp-g@pref.saga.lg.jp
SSP公式 URL <https://ssp.saga.jp>
- ②【プロスポーツ等活用】 スポーツ課 ☎0952-25-7334 ✉sports@pref.saga.lg.jp
佐賀バルナーズ公式 URL <https://ballooners.jp>
レオブラックスサガ公式 URL <http://karatsuleoblacks.jp>

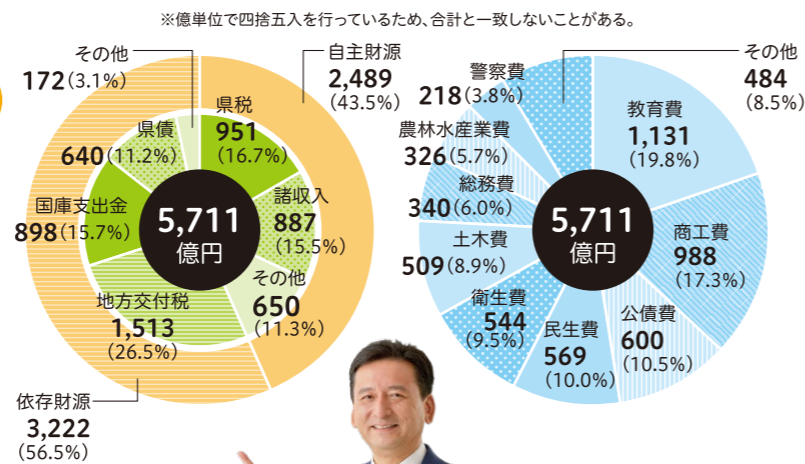


令和4年度佐賀県の当初予算

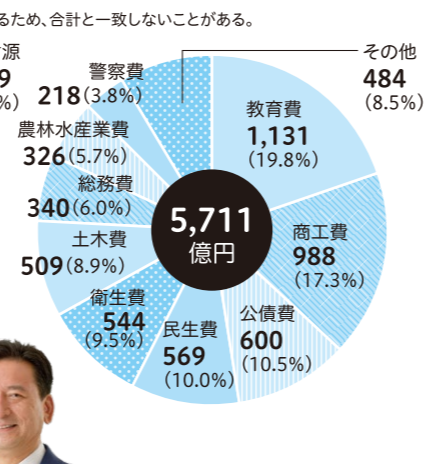
予算規模の推移



歳入予算



歳出予算



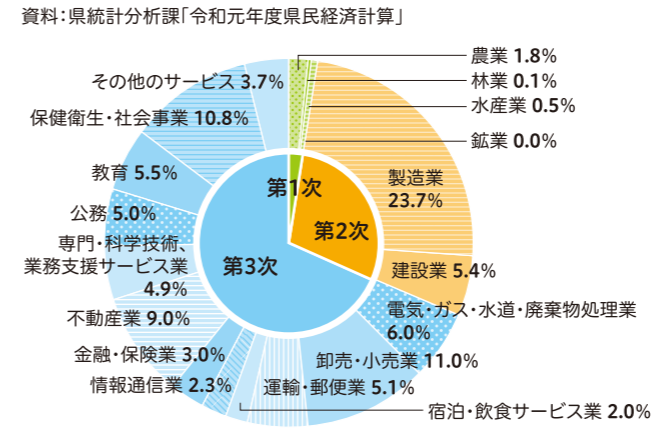
世界に誇れる佐賀県

<p>全国1位</p> <p>シリコンウエハ (表面研磨したもの)出荷額 1534億円 【R1年】 経済産業省「工業統計調査」</p>	<p>全国1位</p> <p>二条大麦収穫量 45,100t 【R3年度】 農林水産省「作物統計調査」</p>	<p>全国1位</p> <p>人工林率 (人工林面積/森林面積) 67% 【R3年度】 「佐賀県森林・林業統計要覧」</p>	<p>全国1位</p> <p>板のり収穫量 17億枚 【R3年】 「佐賀県有明海漁業協同組合」</p>
<p>全国1位</p> <p>学習者用デジタル教科書の 整備率 21.8% 【R3.3.1】 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」</p>	<p>全国1位</p> <p>消防団員の組織率 (人口千人当たり) 22.1人 【R3.4.1】 消防庁「消防団の組織概要等に関する調査の結果」</p>	<p>全国1位</p> <p>薬局数 (人口10万人当たり) 62.4か所 【R3.3.31】 厚生労働省「衛生行政報告例」</p>	
<p>全国2位</p> <p>多目的運動広場(※1)数 (公共)(人口100万人当たり) 174.6施設 【H30年度】 総務省「統計でみる都道府県のすがた2022」</p>	<p>全国3位</p> <p>一般世帯(※2)の 平均人員 2.51人 【R2年】 総務省「国勢調査」</p>	<p>全国3位</p> <p>15歳未満人口割合 13.5% 【R2年】 総務省「国勢調査」</p>	

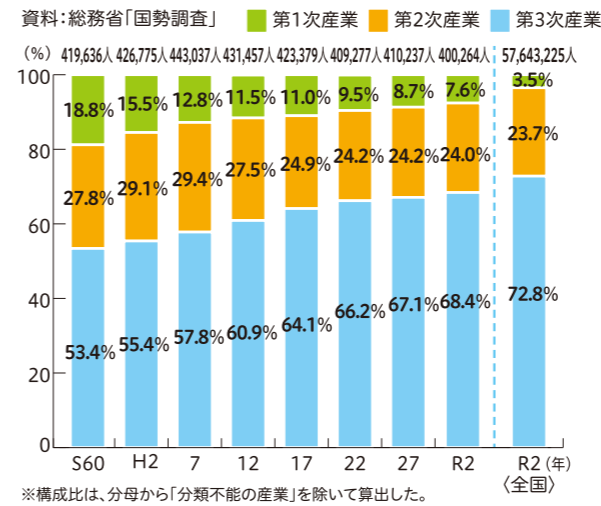
※1/面積が992㎡以上で、必要に応じて各種のスポーツが行える広場
※2/①住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者。②間借り・下宿などの単身者。③会社などの独身寮の単身者
なお、一般世帯の平均人員は次の算式による。〔一般世帯人員/一般世帯数〕

佐賀県の産業

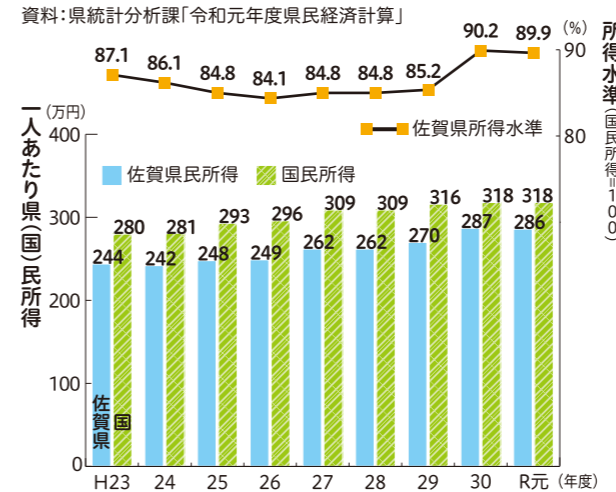
経済活動別県内総生産(名目)の構成比



就業人口の推移

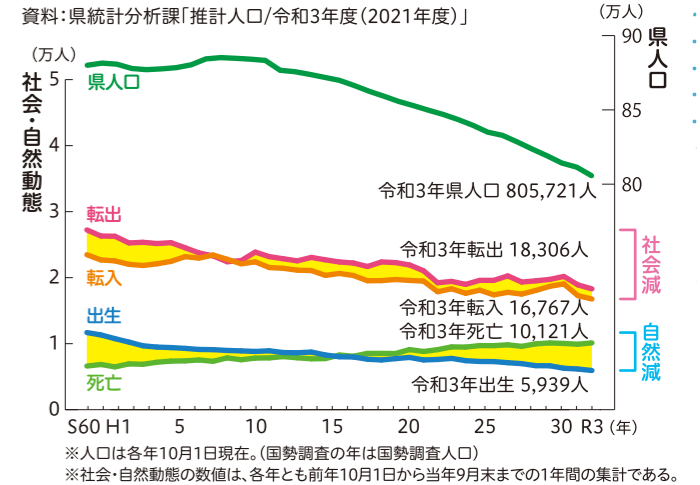


県民所得の推移(1人あたり)

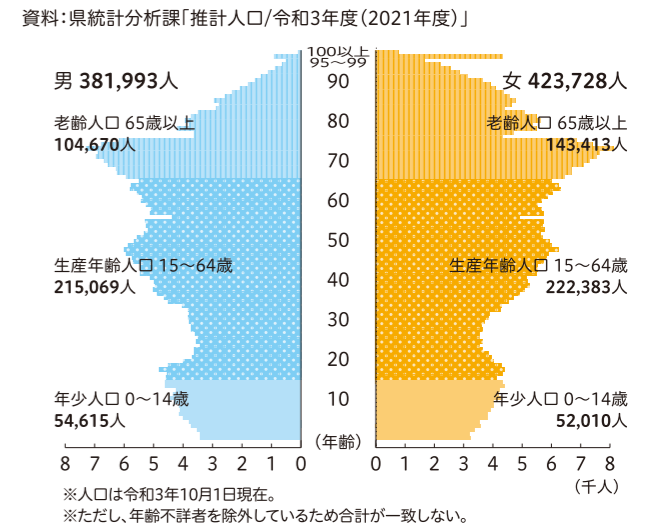


※一人当たり県(国)民所得は、企業の所得なども含んだ指標であり、個人の給与や収入を示したものではありません。

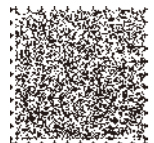
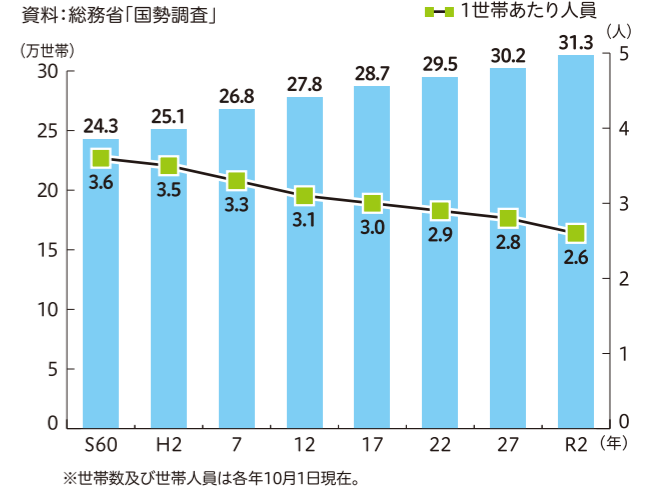
人口の動態



人口ピラミッド



世帯数及び世帯人数の推移



★ 財政課 ☎0952-25-7013 ✉zaisei@pref.saga.lg.jp
ホームページ ▶ 県政情報 ▶ 財政・予算・県庁運営 ▶ 財政状況・予算・決算 ▶ 令和4年度予算

